



とくち苑で百寿を迎えられた方々



祝 敬老会

佐波福祉会では、9月16日に特別養護老人ホームとくち苑、グループホームかじかの里、生活支援ハウスマなごに入居されている方の長寿をお祝いする敬老会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症防止の為、式典には百寿及び米寿を迎えられた方とご家族をお招きして規模を縮小しての開催となりました。

今年は百寿の方が2名おられ、内閣総理大臣、山口県知事、山口市長からのお祝いを受けられました。そして米寿の方は6名おられ、山口市からのお祝いを受けられました。

その他、入居者全員の方が八坂小学校児童の皆さんからのお祝いのお手紙を受けられました。法人からは職員が選んだお祝いの品をプレゼントさせていただき長寿をお祝いました。



とくち苑デイサービスでは9月14日から一週間に渡り「敬老会ウィーク」と題して敬老の日のお祝いを開催しました。

98歳で3名の方がおられます。事業所からささやかですがお祝いの品を贈り長寿をお祝いしました。



バスガイドならぬナスガイドがご案内

また、現在コロナ感染対策としてボランティアの受け入れを中止していることから、利用者の方にも少しでも楽しい時間を過ごしていただくよう職員が企画して、「エアーバスツアー九州一周旅行」(地域のクイズや歌を歌いながら観光名所を巡る旅)や、「歌唱ショー」など

でお祝いさせていただきました。帰りの車の中でも話題が出るほど喜んでいただけたようです。これからの元気な長生きを応援させていただきます。



祝

最高齢者
(98歳)



歌唱ショーに出演した
ジュディオングならぬフジイトング

ヘルパー日記

20歳でヘルパーになり家事支援の全くできなかった私に、利用者の方々は孫を見るような優しい眼差しで、生活の知恵をあれこれ教えて下さった。あれから四半世紀が過ぎ、私もようやくヘルパーらしく動けるようになった。

そして今もあの時と変わらず優しい眼差しに囲まれ、教えて頂いた家事のコツを実践しながら、毎日楽しく仕事ができている…これまでの沢山の出逢いに感謝・感謝！

とくち苑フェスタ

開催中止のご連絡

令和元年から始まった「とくち苑フェスタ」は、新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ、来場者の皆さま、入居者の皆さま、イベントに関わるすべての皆さまの健康と安全を第一に考慮し、中止とさせていただくことになりました。

来年こそは開催できるよう新型コロナウイルス感染症の終息を祈ります。



壁絵作り ・コスモスと赤とんぼ(とくぢ苑デイサービス)



楽しかった
あんなこと
こんなこと...
各事業所の行事

移動式リフトで入居者の方も介護職員も安心、安全に移乗できます (とくぢ苑ユニット)



敬老会のプレゼントを持って記念撮影 (まなご)



浴衣を着て夏祭りを開催しました (かじかの里)



今日は栗ご飯にしましょうか (まなご)



八坂小の皆さんへ敬老会のお礼の手紙を書きました(かじかの里)



託児の子供と一緒に (まなご)



そうめん流し (かじかの里)

【誤嚥について】

誤嚥（ごえん）とは、食べ物や唾液を飲み込むときに、食道ではなく気道（気管）に入ってしまうことです。

この誤嚥によって、肺炎（誤嚥性肺炎）を引き起こす場合がありますので注意が必要です。

気道に入った物を出そうと「咳」や「むせ」が起こりますが、老化などによって、飲み込む機能や咳をする力が弱くなると、口腔内の細菌、食べかす、逆流した胃液などが誤って気道に入りやすくなり、その結果、誤嚥性肺炎を発症してしまう可能性があります。



●食事での誤嚥を予防するには

- ①食事時の姿勢に気をつける
- ②よく噛んでゆっくり食べる
- ③適度なとろみをつける
- ④食後は座ったままの姿勢でゆっくりする
- ⑤日頃から嚥下（えんげ）リハビリをする

●むせたらどうしたらいい？

食事中にむせてしまった場合は、食事を一時中断し、前かがみの姿勢を取り、せきをしていただくよう促します。

気管に入ってしまった食べ物などを、外へ出すことが大切です。

むやみに強く背中をたたいたり、むせた瞬間にお水を飲むよう促すのはよくありません。かえって誤嚥の危険性を高めてしまいますので、注意しましょう。

●口腔ケアは必要です

誤嚥性肺炎予防のために口腔内を清潔に保つように心がけましょう。口の中の細菌を減らすことで、誤嚥性肺炎のリスクを低減することができます。

●自宅でできる嚥下リハビリ

※LIFULL介護より引用



- ・顔、首、口のマッサージ
- ・肩、首のストレッチ

- ・早口言葉
- ・パタカラ体操

- ・口の体操
- 口を大きさに動かす

- ・歌を歌う

編集委員

入江 里美	藤本 亜希子
小田 重将	内田 政子
加藤 綾	山田 純子
中山 邦恵	山本 弘子
東 圭一	米田 美樹
平尾 泰文	(50音順)

〈編集後記〉

敬老の日を迎え思い起こしたのが「四十、五十は洩垂れ(はなたれ)小僧 六十、七十は働き盛り 九十になって迎えが来たら 百まで待てと追い返せ」今話題の渋沢栄一の言葉である。本来の意味合いとは違いますが、定年制の撤廃等、時代が追いついて来た。大きな夢は持てなくても夢と実動——そうありたい。洩垂れ小僧もこれからが「旬」。

現在、新型コロナウイルス感染予防の為、ボランティアの皆さまには、ご来苑を自粛いただいております。
ご協力ありがとうございます。

